

2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年7月29日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL http://www.jsr.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 川橋 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 桑島 信彦 TEL 03-6218-3517
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）
（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期 第1四半期	119,501	△2.3	10,035	△12.6	9,854	△15.0	8,038	△9.1	7,291	△18.4	5,400	△30.2
2019年3月期 第1四半期	122,257	20.9	11,483	△9.6	11,594	△14.0	8,842	△12.0	8,939	△5.4	7,736	△41.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期 第1四半期	33.20	33.13
2019年3月期 第1四半期	40.16	40.05

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期 第1四半期	677,914	436,116	396,427	58.5	1,817.71
2019年3月期	691,435	440,360	401,998	58.1	1,823.69

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—				
2020年3月期（予想）		30.00	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	252,000	2.6	21,500	△4.1	21,500	△8.5	16,500	△4.4	15,000	△10.3	68.05
通期	508,000	2.3	44,500	3.4	44,500	0.7	34,000	1.2	31,000	△0.4	140.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	226,126,145株	2019年3月期	226,126,145株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	8,035,009株	2019年3月期	5,694,949株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	219,595,826株	2019年3月期1Q	222,601,596株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2019年7月29日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(重要な会計方針)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から同年6月30日）の概況

当社グループの主要な需要業界におきましては、米中の貿易摩擦や英国のEUからの離脱交渉に伴う混乱等を背景に、昨年度後半からの厳しい状況が継続しております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、エラストマー事業では、技術的に優位性を持つ製品のグローバルな拡販に注力いたしました。合成樹脂事業では、テクノUMG株式会社が統合2年目を迎え、事業統合によるシナジー効果実現を目指し、販売・開発・製造の融合を進めてまいりました。デジタルソリューション事業では、半導体材料事業においては最先端技術に対応した素材の拡販を、ディスプレイ材料事業では高成長が期待される中国市場での拡販を進めました。ライフサイエンス事業では、当社の強みである高機能材料の拡販に加えて、積極的な事業買収により得たバイオ医薬品の創薬・製造プロセス開発・委託製造を一貫して請け負う体制の統合強化に注力いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益は1,195億1百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益100億35百万円（同12.6%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益72億91百万円（同18.4%減）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
エラストマー事業	49,653	40.6%	45,792	38.3%	△3,861	△7.8%
合成樹脂事業	26,400	21.6%	24,822	20.8%	△1,579	△6.0%
デジタルソリューション事業	35,398	29.0%	36,038	30.2%	640	1.8%
ライフサイエンス事業	8,974	7.3%	12,308	10.3%	3,334	37.2%
その他事業	1,800	1.5%	541	0.4%	△1,259	△69.9%
調整額	31	0.0%	0	0.0%	△31	△99.8%
合計	122,257	100.0%	119,501	100.0%	△2,756	△2.3%
国内売上収益	54,011	44.2%	51,372	43.0%	△2,639	△4.9%
海外売上収益	68,246	55.8%	68,129	57.0%	△117	△0.2%
区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上収益比	金額	売上収益比	金額	比率
営業利益	11,483	9.4%	10,035	8.4%	△1,448	△12.6%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	8,939	7.3%	7,291	6.1%	△1,648	△18.4%

① エラストマー事業部門

エラストマー事業につきましては、SSBRが順調に販売数量を伸ばしましたが、事業全体の販売数量は前年同期を下回り、売上収益も前年同期を下回りました。営業利益は、主に原料価格下落に伴う販売価格の下落による売買スプレッドの縮小により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上収益は前年同期比7.8%減の457億92百万円、営業利益は前年同期比88.0%減の2億94百万円となりました。

② 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、販売数量は海外向けを中心に前年同期を下回り、売上収益も前年同期を下回りました。営業利益は、原料価格上昇に伴う販売価格改定による売買スプレッドの改善があったものの、販売数量の落ち込みによる影響が大きく、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上収益は前年同期比6.0%減の248億22百万円、営業利益は前年同期比9.3%減の19億70百万円となりました。

③ デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、顧客市場が厳しい状況下において半導体及びディスプレイ材料ともに健闘し、さらにエッジコンピューティング材料が販売数量を伸ばしたことにより、売上収益は前年同期を上回りました。営業利益は売上収益の伸長により、前年同期を若干上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業部門の売上収益は前年同期比1.8%増の360億38百万円、営業利益は前年同期比1.6%増の83億33百万円となりました。

④ ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、バイオ医薬品の創薬・製造プロセス開発・委託製造や診断薬での販売拡大により、売上収益は前年同期を大きく上回りました。営業利益は売上収益の増加に伴う利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のライフサイエンス事業部門の売上収益は前年同期比37.2%増の123億8百万円、営業利益は前年同期比211.3%増の11億45百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月24日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	70,785	70,366
営業債権及びその他の債権	135,280	125,929
棚卸資産	117,046	116,597
その他の金融資産	5,002	3,106
その他の流動資産	10,870	6,008
流動資産合計	338,983	322,005
非流動資産		
有形固定資産	183,457	198,534
のれん	59,066	57,709
その他の無形資産	14,205	14,587
持分法で会計処理されている投資	24,269	24,001
退職給付に係る資産	1,503	1,535
その他の金融資産	58,895	50,070
その他の非流動資産	2,305	2,258
繰延税金資産	8,751	7,214
非流動資産合計	352,452	355,909
資産合計	691,435	677,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	118,053	107,270
借入金	33,519	24,628
未払法人所得税	5,598	5,096
その他の金融負債	532	490
その他の流動負債	14,752	11,630
流動負債合計	172,455	149,114
非流動負債		
借入金	50,777	55,731
退職給付に係る負債	15,870	16,028
その他の金融負債	1,675	14,394
その他の非流動負債	2,733	3,442
繰延税金負債	7,565	3,088
非流動負債合計	78,620	92,684
負債合計	251,075	241,798
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	18,436	18,386
利益剰余金	351,476	358,870
自己株式	△10,042	△13,708
その他の資本の構成要素	18,758	9,509
親会社の所有者に帰属する持分合計	401,998	396,427
非支配持分	38,361	39,689
資本合計	440,360	436,116
負債及び資本合計	691,435	677,914

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益	122,257	119,501
売上原価	△85,929	△83,458
売上総利益	36,328	36,043
販売費及び一般管理費	△25,210	△26,021
その他の営業収益	418	209
その他の営業費用	△406	△498
持分法による投資損益	353	302
営業利益	11,483	10,035
金融収益	433	416
金融費用	△322	△597
税引前四半期利益	11,594	9,854
法人所得税	△2,752	△1,817
四半期利益	8,842	8,038
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	8,939	7,291
非支配持分	△97	747
合計	8,842	8,038
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	40.16	33.20
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	40.05	33.13

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	8,842	8,038
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	△170	416
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	6	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	22	△52
在外営業活動体の換算差額	182	△2,765
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△1,146	△236
税引後その他の包括利益合計	△1,106	△2,638
四半期包括利益合計	7,736	5,400
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	7,977	4,599
非支配持分	△241	801
合計	7,736	5,400

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2018年4月1日残高	23,370	18,502	331,913	△5,358	25,071	393,499	18,116	411,615
四半期利益			8,939			8,939	△97	8,842
その他の包括利益					△962	△962	△144	△1,106
四半期包括利益合計	-	-	8,939	-	△962	7,977	△241	7,736
株式報酬取引		△49			25	△24		△24
配当金			△5,565			△5,565	△46	△5,610
自己株式の変動		5		44		49		49
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			284		△284	-		-
企業結合による変動		65	7			72	17,670	17,742
非支配持分の変動						-	2	2
その他の増減額			△36		64	28	718	746
所有者との取引額等合計	-	21	△5,309	44	△196	△5,440	18,345	12,905
2018年6月30日残高	23,370	18,523	335,543	△5,313	23,914	396,037	36,220	432,257

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2019年4月1日残高	23,370	18,436	351,476	△10,042	18,758	401,998	38,361	440,360
会計方針の変更			133			133		133
修正再表示後の残高	23,370	18,436	351,609	△10,042	18,758	402,131	38,361	440,493
四半期利益			7,291			7,291	747	8,038
その他の包括利益					△2,692	△2,692	54	△2,638
四半期包括利益合計	-	-	7,291	-	△2,692	4,599	801	5,400
株式報酬取引		△49			26	△23		△23
配当金			△6,613			△6,613	△895	△7,508
自己株式の変動		△1		△3,667		△3,668		△3,668
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			6,583		△6,583	-		-
企業結合による変動						-		-
子会社の増資に伴う持分 の変動						-	1,422	1,422
その他の増減額						-		-
所有者との取引額等合計	-	△50	△29	△3,667	△6,557	△10,303	527	△9,776
2019年6月30日残高	23,370	18,386	358,870	△13,708	9,509	396,427	39,689	436,116

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第16号 リース	リース契約に関する会計処理を改訂

(会計方針の変更)

当社グループは、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、比較情報の修正再表示は行わず、本基準の適用による累積的影響を適用開始日の利益剰余金期首残高として認識する方法(修正遡及アプローチ)を採用しております。

当社グループは、契約の締結時に、特定された資産の使用を支配する権利が一定期間にわたって対価と交換に移転する場合には、当該契約はリースであるか又はリースを含んでいると判定しております。但し、当社グループはリース期間が12ヶ月以内の短期リース及び少額資産のリースについて、使用権資産及びリース負債を認識しないことを選択しております。

契約がリースであるか又はリースを含んでいると判定した場合、リースの開始日に使用権資産とリース負債を認識しております。リース取引におけるリース負債は、リース開始日におけるリース料総額の未決済分の割引現在価値として測定を行っております。使用権資産については、リース負債の当初測定額に当初直接コスト、前払リース料等を調整し、リース契約に基づき要求される原状回復義務等のコストを加えた額で当初の測定を行っております。使用権資産は、リース期間にわたり規則的に、減価償却を行っております。リース料は、リース負債残高に対して一定の利子率となるように、金融費用とリース負債残高の返済部分とに配分しております。金融費用は要約四半期連結損益計算書上、使用権資産に係る減価償却費と区分して表示しております。

契約がリースであるか否か、又は契約にリースが含まれているか否かについては、法的にはリースの形態をとらないものであっても、契約の実質に基づき判断しております。なお、リース期間が12ヶ月以内に終了するリース及び原資産が少額であるリースについて、当該リースに関連したリース料を、リース期間にわたり定額法により費用として認識しております。

IFRS第16号への移行により、適用開始日現在の要約四半期連結財政状態計算書において、使用権資産13,810百万円を「有形固定資産」に、リース負債13,678百万円を流動負債及び非流動負債の「その他の金融負債」に追加的に認識しております。IFRS第16号適用開始日に認識したリース負債に適用している借手の追加借入利子率の加重平均は3.0%です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業を中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは、自動車タイヤ用途の汎用合成ゴム、自動車部品用途の機能性特殊合成ゴム、樹脂改質用途の熱可塑性エラストマー、塗工紙用途の合成ゴムラテックス等を製造販売しております「エラストマー事業」、自動車及びOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、及び「ライフサイエンス事業」の4つを報告セグメントとしております。なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性に基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
エラストマー事業	スチレン・ブタジエンゴム、ブタジエンゴム、エチレン・プロピレンゴム等の合成ゴム及び精練加工品、熱可塑性エラストマー及び加工品、紙加工用ラテックス、一般産業用ラテックス、アクリルエマルジョン、原料ラテックスの精製加工品、高機能コーティング材料、高機能分散剤、工業用粒子、潜熱蓄熱材料、遮熱塗料用材料、電池用材料、ブタジエンモノマー等の化成品、等
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂、ASA樹脂等の合成樹脂
デジタルソリューション事業	<半導体材料事業> リソグラフィ材料（フォトレジスト、多層材料）、CMP材料、実装材料、等 <ディスプレイ材料事業> カラー液晶ディスプレイ材料、有機ELディスプレイ材料、等 <エッジコンピューティング事業> 耐熱透明樹脂及び機能性フィルム、高機能紫外線硬化樹脂、光造形、等
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬及び同材料、バイオプロセス材料、バイオプロセス開発・製造委託、等

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額
	エラスト マー	合成樹脂	デジタル ソリューション	ライフサ イエンス				
外部顧客からの売上 収益	49,653	26,400	35,398	8,974	1,800	122,226	31	122,257
営業利益又は営業損 失(△)	2,452	2,171	8,199	368	△463	12,727	△1,244	11,483
金融収益								433
金融費用								△322
税引前四半期利益								11,594

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リチウムイオンキャパシタ事業等を含んでおります。

2. 営業利益の調整額△1,244百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額
	エラスト マー	合成樹脂	デジタル ソリューション	ライフサ イエンス				
外部顧客からの売上 収益	45,792	24,822	36,038	12,308	541	119,501	0	119,501
営業利益又は営業損 失(△)	294	1,970	8,333	1,145	△315	11,427	△1,392	10,035
金融収益								416
金融費用								△597
税引前四半期利益								9,854

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リチウムイオンキャパシタ事業等を含んでおります。

2. 営業利益の調整額△1,392百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。